

「まつにし スマイルウィーク」～つながる～

熊本県立松橋西支援学校

1 単元「まつにし スマイルウィーク」

児童生徒が毎年楽しみにしている全校での「運動会」が熊本地震のために中止となりました。そこでそれに代わるものとして、5月16日（月）～20日（金）まで、単元「まつにし スマイルウィーク」を計画しました。児童生徒が笑顔で元気に種目や準備活動を行い、学校生活への見通しを持ち、持てる力を精一杯発揮して、松橋西支援学校の平成28年度を再スタートしようと考えたのです。

今年度は本校創立40周年を迎えます。「つながる」をキーワードに、この単元を進め、これまで本校が築き上げてきた歴史を引き継ぎながら、よりよい松西となるようにしたいと考えています。

2 「まつにし スマイルウィーク」の取組の様子

(1) 赤白対抗で盛り上がり

小学部・中学部・高等部を縦割りして、赤、白の2つの団を形成しました。準備活動は、各団や学部で取り組むようにし、スタート集会で実行委員会から依頼することになりました。応援団は、通常の運動会のように練習時間も確保できないため、高等部のみで結成しました。学部種目に関しても、少ない練習時間でも取り組むことができるような内容にしました。



(2) みんなでスマイルダンス

全校ダンスは、みんなが楽しめるようなアップテンポの曲を選び職員が振り付けをしました。盛り上げるために、スタート集会から全校ダンスを踊りました。曲の途中では全校児童生徒が一斉に肩を組むシーンがあり、一体感を感じることができました。



(3) 「スマイルデイズ」

設定を1日だけにすると、雨天時は体育館破損のため各学部のプレイルームで行うことになりました。そこで、3日間（水～金）を「スマイルデイズ」とし、午前中、赤白対抗で開会式から各学部の競技種目を経て、閉会式まで、毎日勝負で行いました。保護者には、この3日間は参観できることを案内しました。余震がある中、参観者は1日に集中することなく、子どものがんばる姿を見て喜んでいらっしやいました。また、地域の方もご覧になり、児童生徒から元気をもらったと感激されていました。

3 「まつにし スマイルウィーク」を終えて

熊本地震のため、5月10日（火）から学校が再開しました。玄関から入れない状況で、登校してきた子どもたちの顔には、不安が隠せませんでした。入学してまもなくの地震、休校と、新入生、特に小学部1年生にとっては、何が何だかわからず不安だらけだったと思います。この「まつにし スマイルウィーク」実施では、生活を分かりやすくすることも一つのねらいでした。児童生徒も教師も一緒に学校上げてこの1週間取り組みました。勝っても負けても団の一体感を味わったり次への意欲を高めたりできるようにし、赤白に分かれ、共に喜んだり悔しがったりして、感動や体験の共有をしていきました。一人一人の児童生徒が徒走や団体種目、準備活動で、存分に力を発揮することができた1週間となりました。

「まつにし スマイルウィーク」から、さらなるスマイルがつながり、笑顔あふれる松西に戻りつつあります。みんなで一緒に行った「まつにし スマイルウィーク」の達成感と自信は、みんなの心の中にいつまでも残り、これからの未来を切り開く力となっていくと思います。